

## 編集後記

前号の編集後記では、本誌の刊行を支えてきたいわゆる「地理思想」科研の歴史を紹介した。幸いなことに、その系譜を汲む、また本誌の刊行を支えてくれた和歌山大学の島津さんの科研は、本年度より九州大学の遠城さんの「「コモンズ」をめぐる思想・理論・社会的実践に関する地理学的研究」の科研・基盤研究 (B) に引き継がれることになった。前号の文面に従えば、地理思想科研グループの第3世代、「中期の若手メンバー」であった遠城さんに、同じ世代の島津さんからバトンタッチされたということになる。

世代論的に、この科研の流れで代表となった九州大学の高木さんや水内が第2世代ということになる。この第2世代がいま学界を支える年代となっているが、こと私に関しては、地理の本流からははずれた仕事を中心となってしまっていることに内心忸怩たるものがある。せめてもの貢献ということで、今回は、指導している院生や学生のレポートを掲載することで、地理学との関わりの証しとさせていただきます。次第である。水岡さんの共著のレポートも、指導学生の若々しい世代のレポートとなっている。

学界においては、世代の塊がある種の学界フロンティアを唱道し、ファンを獲得し、研究グループを形成し、一時期を風靡するようになる。学界はこれにより活性化し、さらに若い世代はそこに惹きつけられてゆく。このような流れは地理学にも同様に見られたとわたしは思っている。いまその波を切るのは1970年代後半生まれの世代に突入しているのかもしれない。重厚な論考を旨としてきた本誌にも、そうした波に乗る若手の寄稿を今後期待したいし、そうした役割を積極的に果たすべく、寄稿の申し出をお待ちしている。

「空間・社会・地理思想」第18号編集代表者 水内俊雄

---

## 空間・社会・地理思想 第18号

発行日／2015年3月26日

編集／科学研究費基盤研究(B)「「コモンズ」をめぐる思想・理論・社会的実践に関する地理学的研究」(研究代表者 遠城明雄)  
編集代表者 水内俊雄

編集協力／(有)地域・研究アシスト事務所

発行／©遠城明雄

九州大学大学院人文科学研究院

〒819-0395 福岡市東区箱崎6-19-1

電話・ファックス 092-642-2422

aonjo@lit.kyushu-u.ac.jp

印刷／ホウユウ(株)

〒590-0982 堺市堺区海山町1-8-4

電話 072-227-8231 ファックス 072-224-1466

---